

令和3年度 沖縄県ハンドボール協会 中学校 ガイドライン

＜参加者の安全を最優先にした行動を＞

大会の開催にあたっては、何よりもまず参加者の人命や健康を最優先にした計画・実行を行ってください。感染予防に向けて取り得る十分な環境が整えられない場合は、参加チーム・大会関係者の安全を第一にして、大会の延期や中止の判断を積極的に行ってください。

＜不当な扱い・差別等を許容しない＞

現在、残念ながら、国内外で感染者や診療に携わった医療機関・医療関係者その他の対策に携わった方々に対する誤解や偏見に基づく差別、誹謗中傷の例が複数報告されていますが、沖縄県ハンドボール協会は、このような事案の発生を一切許容せず、断固たる姿勢で臨みます。

なお、こうした事案等の予防という観点でも、大会参加者に新型コロナウイルスの感染者が発生した場合の個人情報等の取り扱いには十分配慮してください。

※ ここでいう「事案」には、活動現場や SNS 上での感染者等に対する差別的な発言・態度のようなものだけでなく、例えば、コロナ感染を避けるために選手がチーム活動への参加を、もしくは、チームが大会等への参加を一時的に辞退する/したことを理由として、チームの指導者が当該選手を、または、専門部が当該チームを不当に扱うことなども含まれます。

＜沖縄県ハンドボール協会県大会実施の考え方＞

大会の開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期を検討してください。参加者数は、沖縄県イベント実施ガイドラインの基準となる屋外についての目安は、上限 200 名以下(応援を含む)、かつ人と人の距離を十分に確保(2m ほど)することが必要です。また、屋内については、参加者数は 100 名以下(応援を含む)、かつ借用施設定員数の 50%以下が開催の目安となります。

また、大会参加者(参加チーム・大会関係者・審判員等も含む)は移動中の感染リスク対策をしっかりと行うことが求められます。

なお、大会期間は、各会場において全てのチェックリストと全ての参加者から提出いただく健康チェックシートを毎日回収し、大会終了後は専門部長が集約します。

原則として無観客試合とします。会場内への出入りは、登録選手・顧問・副顧問・引率者・外部コーチ・大会役員・審判員のみとします。但し、競技によって3密(密閉・密集・密接)を回避し、感染予防対策をとれるのであれば、大会に出場しない部員の出入りを認める場合もあります。

※令和2年6月19日から、沖縄県主催・共催イベント等を実施する際のガイドラインが段階的に緩和することが発表されましたが、屋内施設では、今後も収容定員の半分以下の入場制限を継続していかなければならない状況です。感染予防策を徹底する上でも、本大会における観客動員解除の基準は、沖縄県主催・共催イベント等を実施する際のガイドラインで屋内・屋外ともに入場制限が解除となった場合とします。

＜大会出場校より新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者や感染患者が出た場合＞

大会開始日2週間前から大会当日までに学校の設置者が臨時休業と判断した学校は、大会への出場を認めません。※学校内の感染拡大の可能性が高い範囲に応じて、学級単位、学年単位又は学校全体の臨時休校とする場合がありますので、学校の設置者の判断に基づきます。(学校における新型コロナ

1. 事前の対応

参加者への連絡事項

(1) 大会参加申し込みについて

- ①生徒と保護者へ本ガイドラインの感染防止対策等を理解していただき、学校長の許可を得る。
- ②大会参加は生徒の意思と保護者の合意によるものであるため相談の上決める。

(2) 大会前と大会開催時について

- ①大会開始日2週間前から、息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)・高熱等の症状があった場合は、かかりつけ医等に相談し受診すること。
- ②大会開始日2週間前から、発熱等の風邪症状がある場合は、部活動を休み外出を控えること。
- ③上記①・②の症状が出た生徒においては、活動の中止と健康観察を行い、症状が治まった時点で活動を再開する。活動を再開する前に、担当教諭と当該生徒は、当該校の校長へ報告すること。

(3) 大会当日について

- ①大会当日、生徒に発熱や風邪等の症状者がでた場合は大会への出場は認めない。
その場合、保護者へ連絡し早急な帰宅を促すこと。当該校関係者や専門部長、感染対策責任者は生徒の個人情報等の取り扱いは十分注意すること。

(4) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせ(大会当日に書面にて確認)

- 体調が良くない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(5) 大会参加者全員のマスク着用

※ 飛沫感染防止のため、基本的には常時マスクを着用する。しかし、熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外し、他者との間に十分な距離を保つ。

(6) 沖縄県ハンドボール協会が示す注意事項の遵守

(7) 大会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告

(8) 大会中に誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況の記憶(感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます)

※大会参加者全員に提出していただく健康チェックシートには以下の事項を記載していただきます。

①氏名、生年月日、住所、連絡先(電話番号)、保護者のサイン、押印

※参加チーム用と大会関係者用があります。

※個人情報の取扱いに十分注意する

②大会開始日2週間前から当日までの体温チェック

③大会開始日2週間における以下の事項の有無

- 平熱を超える発熱
- 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪症状
- だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
- 臭覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

2. 会場内における感染防止対策

各箇所においてチェックリストを活用し、専門部長が集約する。

(1) 本部席

各会場において、以下の対応を行ってください。

- 各部屋にアルコール消毒液を設置する。
- 全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブ等を介した接触感染を防ぐ。
- 飲料用、暑熱対策、アイシング等については、事前に個人用を準備する。
※ ドリンクを冷やすためのクーラーボックスは使用しない。
- 座席を設置する際に前後左右 1.5~2m間隔をあげ、お互いが正面に座らないよう配慮する。

(2) 手洗い場所

大会参加者や関係者が手洗いをこまめに行えるよう、以下の対応を行ってください。

- 手洗い場にはポンプ型の液体または泡石鹼を用意する。
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。
※ 布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。
- アルコール消毒液を設置する。

(3) トイレ

- 便器の蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹼を用意する。
- 「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。
※ 布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること。
- アルコール消毒液を設置する。

(4) 更衣室・ロッカールーム

- 更衣室への入室は5人未満とし、5分以上はいることがないようにする。
- 広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
- 室内又はスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所については消毒をする。
※ ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等
- 一日に同会場で複数試合を行う場合は、試合終了後に消毒する。

- 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。
- 利用者は必ずマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- 利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。

(5) ベンチ

- ベンチは1.5m間隔でイスを置く。
- 試合終了毎にベンチの消毒を行う。

(6) 大会関係者対応(管理職や審判員、部員 等を含む)

事前通達

大会関係者を会場内に入れる場合には、観戦エリアにおいて3つの密を避ける対応が求められます。以下の留意事項について、参加チーム及び大会関係者へ事前に周知を徹底してください。

- 体調の悪い人は来場を控える
※監督及び引率者においても体調が悪い場合は来場を控える。その場合、学校関係者から代理をたてることとする。(代理の職員は、学校長の承認のもと大会に参加する。健康チェックシートの提出を協力していただく)
- 来場する際はマスクを着用する
- 大声での声援や大旗を使つての応援は行わない
- 場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える

試合当日

大会関係者を会場内に入れる場合には、以下の点に留意してください。

- 試合会場各所(入退場ゲート、トイレ等)にアルコール消毒液を設置する。
- 入場前に健康チェックシートを提出してもらい、入場可否の確認を行う。
- 体調の悪い人への観戦自粛を促すアナウンスを徹底する。
- 場内アナウンス等で上記「事前通達」事項のアナウンスを随時行い、守らない方には直接注意する。
- 注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置を講じる。

(7) 試合前におけるチームへの伝達事項

- 各チーム登録メンバー・役員以外は来場禁止。
- 登録メンバーは無制限だが、ベンチ入りは16名とする。
- チームの体育館への入館時間は原則、試合開始1時間前とする。
- 選手の控え場所を指定する。指定された場所以外は行かない。
- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない。
- 両チームベンチへの挨拶を実施しない。
- 円陣はしない。
- 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。
- コート内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。
- 口に含んだ水を吐かない。
- ボトルを共有しない。
- 会場内での食事は原則禁止とする。飲料水のみ許可をする。
- 飲料用、暑熱対策、アイシング等については、事前に個人用を準備する。
※ ドリンクを冷やすためのクーラーボックスは使用しない。

- タオルを共有しない。
- 競技中、チームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。
- 試合中、ベンチメンバー、オフィシャルはマスクを着用し、会話を控える。

(8) 大会参加者における留意点(ウォーミングアップ時を含む)

※ウォーミングアップは外で行う。ハーフタイム8分・試合開始前の20分はコートを使用することができる

① 十分な距離の確保

全ての競技において、運動をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人と距離(2mが目安)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

ウォーミングアップ時も強度が高くなると呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける必要がある。また、マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること。

② 位置取り

前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

③ その他

ア 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。

イ タオルの共用はしないこと。

ウ 体育館内は、食事は禁止とし、飲料水のための補給を認める。

エ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと。

(10) ゴミの廃棄方法

会場で発生したゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用してください。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、各チームで持ち帰りください。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

(11) その他

これら(1)～(10)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。各専門部及び参加チームは、その点を理解した上で、大会の実施や大会へ参加をしていただくとともに、関係者への周知を行ってください。

また、特に夏場においては、各諸室の窓、ドアの開放、参加者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まります。こまめな水分補給を心掛けましょう。

3. 事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会参加者から取得した書面や健康チェックシートを、専門部で1ヶ月間保存する。

各専門部は、大会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡を取り、具合の悪いチーム関係者、大会関係者がいないか確認してください。

万が一大会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、沖縄県ハンドボール協会事務局にその旨ご報告ください。また、チームから競技会終了後14日以内に感染者発生のご報告があった場合にも、同様にその旨沖縄県ハンドボール協会事務局にご報告ください。

※ 感染が疑われる事案が発生した場合は、健康チェックシートを事務局に提出してください。

メディア(新聞社・アルバム業者)における注意事項

事前準備

大会の取材申請を事前に知ること、3つの密を避けるための取材者の人数確認が可能となり、取材者に対して事前に感染防止対策を周知できる。

- 試合会場の設備に合わせて、3つの密にならないように取材者の人数を事前に確認する。
- 試合を取材するメディアに対しても、次に記載されている内容を遵守するよう事前に伝える。

(ア) 以下の事項に該当する場合は自主的に来場を見合わせる

- 体調が良くない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(イ) マスクを常時着用する

(ウ) 健康チェックシートを作成し入場時に提出する(当日受付で提出してもらう)

(エ) 大会に参加する上で沖縄県ハンドボール協会が示す注意事項を遵守してもらう

試合会場のメディア設営

参加チームとメディアの不要な接触を避けるため、以下に留意してください。

- 各取材者とも前後左右 1.5m～2m以上の間隔で位置を取り撮影する。
- 取材者室(控え室・控え場所)がある場合、入口にアルコール消毒液を設置し、全てのドア及び窓を開けっ放しにする。回避できる部屋がない場合、記者室を設置しない

当日のメディア運営

健康チェックシートを提出してもらうとともに、当日の体温を測定する。(体温計は持参していただく)

メディア受付時に以下の注意事項を伝える。

- 常時マスクを着用し、不必要な会話を控える。
- 代表質問を行うなど、取材者の人数も必要最小限となるように調整する。
- 選手との距離は2m以上取り、取材者同士も、最低 1m間隔を保つ。
- できるだけ短い時間で取材を終える。

事後対応

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日に参加チーム、メディア、運営関係者から提出された健康管理表を、1ヶ月間保存します。

競技会終了後3日後、沖縄ハンドボール協会に、体調の様子を連絡してください。

万が一大会終了後 14 日以内に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、沖縄ハンドボール協会にその旨ご報告ください。また、御社から競技会終了後 14 日以内に感染者発生のご報告があった場合にも、同様にその旨沖縄県ハンドボール協会事務局にご報告ください。

無観客試合(チーム役員・競技役員・登録選手・救護対応保護者(2名)

以外は入館できません)

【競技日程】

2試合目以降の入館受付は、前の試合の勝利チームの役員で対応

○4月24日(土)

第1試合 9:30~10:50 ※8時30分入館 受付:第2試合のチーム役員

第2試合 10:50~12:10 ※9時50分入館

第3試合 12:10~13:30 ※11時10分入館

第4試合 13:30~14:50 ※12時30分入館

第5試合 14:50~16:10 ※13時50分入館

○4月25日(日)

第1試合 9:30~10:50 ※8時30分入館 受付:第2試合のチーム役員

第2試合 10:50~12:10 ※9時50分入館

第3試合 12:10~13:30 ※11時10分入館

第4試合 13:30~14:50 ※12時30分入館

第5試合 14:50~16:10 ※13時50分入館

第6試合 16:10~17:30 ※15時10分入館

○4月29日(木・祝)

第1試合 9:30~10:50 ※8時30分入館 受付:専門部で対応

第2試合 10:50~12:10 ※9時50分入館

第3試合 12:10~13:30 ※11時10分入館

第4試合 13:30~14:50 ※12時30分入館

【アルコール設置場所】トイレ・各ベンチ・オフィシャル・玄関前・本部席

【一試合ごとの消毒場所】ベンチ、オフィシャル、ボール、得点版、各ドアノブ

【競技終了後】※試合後の懇親会等はしない・させないようにする

【役割分担】

総務:コロナ対策 健康観察シート回収

審判:審判割の作成 審判指導

消毒隊:会場の消毒(ベンチ・トイレなど)・換気 大会役員で行う

オフィシャル:試合のオフィシャル モップ

情報・記録:マスコミ報告